

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1986 3・4

臨時総会と懇談会開催

— 関西事業支部 —

関西事業支部では58年度から支部内規を決めるべく、支部会員にアンケート調査などで検討していたが、その機が熟したので今回臨時総会を開催し、関西事業支部全会員の承認を得た。

これらの内規ほかは新年度役員選挙から実施される。

内規設定のポイントは、

- 支部運営を全員参加に近い状態で運営するため、委員会を細分化した。
- 理事及び監事の方々は本部運営を中心に活躍してもらい、支部委員との重任をさけた。
- 役員選挙規定を決め、支部全員の意見を反映させるようにした。

◎ 支部臨時総会

日時 昭和61年2月26日 PM17:00～19:00

場所 大阪デザインセンター研修室

出席 川崎・樋口・柏原・南原・上野・富田・新居・山口・千田・藤川・尾畑・要・山崎・岡村・夏原・金子の各氏計16名

○ 川崎事業支部長あいさつ

議長 上野忠之

議事録署名人 南原七郎・藤川宏允

書記 山崎 晶 各氏を選出 <承認>

目 次

● 臨時総会と懇談会開催	1
● 60・第5回理事会議事録	2
● 60・第6回理事会議事録	5
● 中部支部インテリアセミナー開催及び'86 名古屋生活用品見本市展示イベント参加報告	7
● 会員有志懇談会開催	7
● 「IFI パリ会議」報告 及びアジアとの交流を考える会	8
● ブロック別デザイン会議	8
● STEP(豪州家具) 実行委員会報告	10
● 61年度 文芸美術国保案内	10
● 会員の消息	13
● 新入会員の紹介	15
● 事務局短信	19

○議事

議長より、出席会員16名、委任状48名で正会員99名中64名となり本日の総会は成立するとの報告があり、議事に入った。

1) 関西事業支部内規(案)

総務委員より提案、先に全会員に送附し検討されているので、読上げることなしに1章ずつ討議することとする。 <承認>

第1章 総則の項 <承認>

第2章 会員の項 <承認>

第3章 役員 の項

役員の数が多いのではないかと、誤字の指摘がある。総務委員より委員会構成と人員の説明をする。 <承認>

第4章 会議の項 <承認>

第1章～第4章全体について <承認>

賛助会員には、委員会運営面でメリットがでる様検討してほしいとの意見があった。

2) 役員選挙管理委員会は名誉会員・準会員・事務局の中から委嘱する事を確認。

第4条4項 脱字あり訂正する。

第6条2項 投票が同数の場合の補足文を入れる。

今後のスケジュールの説明をし、承認臨時総会を4月15日、目標に進める。

以上の質疑応答があり <承認>

総会閉会

○支部運営委員会にて選挙管理委員会を石川名誉会員、準会員2名、事務局2名に委嘱する事を決する。

○懇談会開催

ビールで今回の役員選挙の成功を祈り乾杯し、懇談会に入った。

1月にミサワホームのショールームで開催された、JID'85、椅子曼陀羅展の経過報告があり、建設省インテリア設計士の問題、樋口会員が昨年末2ヶ月程、北京で客員教授をされた時の話とか、話題がつきず、時間の過

ぎるのも忘れ、楽しい夕べを過し20時散会した。

(関西支部：金子誠之助)

60・第5回理事会議事録

日時 昭和61年2月1日(11:00~2:50PM)

場所 名古屋吹上ホール会議室(名古屋市千種区)

出席者 三輪理事長、渡辺副理事長

理事 宇賀敏夫、川上信二、川崎 浩、わたなべ

ひろこ、山品 元、白石勝彦、樋口 治

(委任状) 中村圭介、泉 修二、島崎 信、中川千年

中田重克、富田卓司

(オブザーバー出席) 林 寅正、栃谷賢一、山本隆嗣、

尾崎博司、関里絵子

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。前半、三輪理事長議長として進行、後半渡辺副理事長補佐にて、報告事項より審議に入った。審議に先立ち本日オブザーバー出席の正会員5氏の紹介を宇賀理事が行った。また、三輪理事長より理事会の名古屋開催につき中部支部役員のご尽力によるものと、謝辞が述べられた。

I 報告事項

① 次期役員予定者(開票結果)

昭和61年4月1日～昭和63年3月31日を任期とする役員選挙の開票結果が選挙管理委員会(工藤広忠委員長)より提出され、事務局長が代読した。氏名以下の通り。

●理事予定者

(関東) 泉 修二、山品 元、中村圭介、三輪正弘、渡辺 優、大野美代子、森谷延周、川上信二、長岡貞夫、木村戦太郎、

(関西) 川崎 浩、樋口 治、山内陸平

(九州) 中川千年

(中部) 宇賀敏夫

●監事予定者

(関東) 渡辺 力

(関西・九州・中部) 岡村 実

(以上 得票順、敬称略)

尚、内容詳細については「JID NEWS 1986

1・2月号」誌上の報告を参照した。

② 「第11回IFI通常総会」及び「国際インテリアデザイン会議（パリ会議）」出席報告

三輪理事長より同会議（60.11.23～26、パリ市）に関する概況が報告された。川崎理事からも同様、補足があった。

③ 「JID'85展」会計中間報告

61.1.31 現在の、同展特別会計について、ほぼ数字が集計されたので、事務局より資料に基づき報告された。最終の会計報告は61.3.31付決算で報告される見込だが、ほぼ修正予算対比10%前後の剰余金が予想できる、とした。

④ 財政報告

60.12.31 現在の、財政状況資料が事務局より提出され、内容説明が加えられた。会費の納入状況については前年同期並である。

⑤ 家賃改訂（案）

本部事務局が入居しているスペースについて家主である建築家会館より家賃改訂について（案）としての打診があった。それによると現行家賃より、年間227,847円のUP（率で25%）となり、年間総額1,139,235円となる。共益費は60.6.1に改訂が行われており今回は据置き。改訂時期は4月の模様。

⑥ SSS情報交流の件

60・第3回理事会決定にもとづく、（社）日本室内装備設計技術協会（池田久蔵会長、略称SSS）との情報交流事項が、樋口理事より報告された。内容は同協会が60.12.17付で建設大臣および建設省住宅局建築指導課長宛に提出した文書「インテリア関係資格制度について（要望）」についてである。主旨は「同制度の創設について撤回されるように」との内容で貫かれている。

⑦ 中国情報について

60.11～12月にかけて北京中央工芸美術学院に客員教授として出講していた樋口理事より、現代中国のインテリアデザイン及びインテリア産業関連の諸情報について報告が行われた。

⑧ 訃報（2件）

- ・山口勇次郎氏 JID創設会員のお一人、山口勇次郎氏が、去る60.11.14逝去された。

享年69才であった。「JID NEWS 1985年12月号及び1986年1・2月号」で詳報した。

- ・加納士雄氏 関東支部の中堅会員加納士雄氏が薬石効なく、60.1.5亡くなられた。

享年43才であった。「JID NEWS 1986年1月号」誌上で会員に報告した。

上記、物故者お二人のご冥福を心からお祈りしたい。

協会よりは規定に従い、お悔みを申し上げた。

⑨ 災害

- ・木村戦太郎氏

関東支部の木村さん宅が去る12月17日類焼した。お見舞を申し上げた。

会員有志にカンパを呼びかけたところ、多数の方々から申し出があった。

⑩ （社）日本パッケージデザイン協会（JPDA）移転

JPDA（青木茂理事長）では、入居ビル改築のため、下記に住所を移転した。

（新住所）東京都港区南青山2-22-14（〒107）

フォンテ青山608号室

電話 03-402-4542

II 議題

① 昭和61年度総会準備について

イ. 新年度事業計画案

事務局より叩き台として提出された事業計画（案）を参考に逐条的に審議を行った。「選考委員会」をはじめ、「総務、広報、渉外、教育、事業」の各通常委員会について（案）をまとめた。この中、従来「渉外委員会」管掌であった「東京を美しくする会」関係は「関東事業支部委員会」へ移管した。また、組織に関連して、渉外委員会の国際関係を発展・強化させる目的で、「国際委員会（仮称）」を新設、国際交流面に力を入れることとなった。

特別委員会関係は「年鑑出版特別委員会」（中田重克委員長）が60・第4回理事会に提出した「中田試案」（通称）につき、情報活動委員長の立場で、渡辺優副理事長が話し合い、調整の上、次回理事会でその方向を事業計画（案）に盛り込むこととなった。「IFI会員作品集」特別委員会（川上信二委員長）

は、本年度事業を継続する。提携出版社等も委員会で決定の上理事会に報告して行く。また、出版企画第3次(案)が川上理事より提出され、大枠を承認した。

4事業支部(関東・関西・九州・中部)関係は中部事業支部よりすでに計画(案)が提出されたものの、他事業支部では、現在検討中なので、次回に持越された。

なお、組織強化に関して、上記「国際委員会」(仮称)新設のほか、事務局長のフルタイム勤務を含む事務局組織の強化についても発言があり、今後の検討課題とした。

ロ. 総会までのスケジュール

事務局よりスケジュール(案)が提出され、大筋が承認された。主なスケジュールは以下の通り。

- 3月28日(金) 60・第6回理事会
- 4月25日(金) 総会議案書発送
- 5月30日(金) 東京で第18回通常総会

② 除名対象者の件

前総会から理事会に付託されていた下記会員の取扱いに関し、定款第11条1項(1)及び(3)ならびに会員規定第12条により除名審議を行った。(カッコ内は所属支部)

小倉 正史	正会員	(関東事業支部)
虞 日 鎮	"	(")
上野 進一	準会員	(")
小林 隆志	"	(")
小林 武男	"	(")
新庄谷範貢	"	(関西事業支部)
古谷 悟嗣	"	(関東事業支部)

上記、7名についての未納会費の詳細、督促の状況など、資料により事務局長から説明が加えられた。理事会は慎重審議の結果、いずれも除名を決定した。なお、この件に関しては昭和61年度通常総会にて規定に従い報告される。

③ 協賛・後援関係(5件)

イ. 「晴海フェスティバル'85」 (後援)

主催(協) ジャパン・ファニチャーセンター

(60.11.20~24 東京)

(財) 日本建築センター

ロ. 第14回「'86国際ホテル・レストランショー」ならびに
第14回「'86ホテル・旅館・レストランシンポジウム」
(協賛)

主催(社) 日本能率協会

(展示会 61.3.11~15 東京)

(シンポジウム 61.3.12~13 東京)

ハ. 「JIDAデザイン会議'86 YOKOHAMA」

(協賛)

主催 (社) 日本インダストリアルデザイナー協会

(61.2.27 横浜)

ニ. 「JIDAセミナー(No.2)およびJIDA

DESIGN PROPOSITION '86展」(協賛)

(61・2月下旬, 東京・横浜・名古屋・大阪・その他)

ホ. 「'86 JAPAN SHOP記念国際シンポジウム」

(協賛)

主催 (財) 店舗システム協会

('86.3.26~27 東京)

以上につき、資料が提出され事務局長より内容説明が加えられた。結果いずれも可とし、承認となった。

④ 入会関係(9件)

氏名	種別	保証推薦者
見城 美子	(正会員)	田辺 麗子・田中 聡行
高橋 啓子	(")	目次 昭雄・小林敬一郎
沖本 弘至	(")	浅田 弘之・金子誠之助
木柳 寿夫	(")	大廣 保行・山品 元
笠松 栄	(")	三輪 正弘・ "
井上 保彦	(")	白石 勝彦・下島 資子
山下 勇	(準会員)	中村 昇

社(校)名	種別	紹介者
創造社デザイン専門学校	賛助会員	福田 武・山内陸平
(株)トヨシマビジネス	"	三輪正弘

以上の件につき、資料に基づき入会審議が行われ、いずれも承認となった。なお、表中、木柳寿夫氏は準会員より正会員への資格変更となっている。

⑤ 議事録署名人選任の件

出席理事のうち、川崎浩、宇賀敏夫両氏が議長により指名を受け、理事会はこれを承認、署名人として選任した。

以上議事案件の全てを終了し、休憩ののち、前記のオブザーバーを含む懇談会に移った。話題は多岐におよび、出席者間で活発な意見交換がなされた。

次回理事会は61.3.28（金）東京開催の予定。

（以上）

60・第6回理事会議事録

日時 昭和61年3月28日（1:30～5:00PM）

場所 JAA3階 会議室

出席者 三輪理事長、渡辺副理事長

理事 川上信二、中村圭介、わたなべひろこ、
泉修二、川崎浩、中川千年、
山品元

（委任状） 島崎信、樋口治、宇賀敏夫、
白石勝彦、（欠）中田重克、富田卓司

はじめに議事につき、三輪理事長より説明あり。報告事項より審議に入る。

I 報告事項

① 1985 J I D協会賞（2件）決定

- 作品「内外におけるインテリアデザイン活動」

倉俣 史朗 殿

- 業績「長年にわたるオフィス家具デザインの開発」

株式会社 岡村製作所 インダストリアルデザイン部 殿

以上、川上選考委員長より資料に基づき経過報告がなされた。理事会は了承した。

② 通産省業務監査（61.3.5実施）報告

検デ課六川、渡辺両事務官による改善要望及指導点

- 事務局就業規則を順守、実施すること。文書としてタイプ打ち等体裁を整し、利用しやすくすること。
- 昭和62年度よりの「公益法人会計基準」改正実施に先立ち、収支関係の作表見直しを行うこと。例えば、予算書における次期繰越収支差額等は「基準」に準拠すること。

- 正味財産につき、毎年度金額登記を行うこと。

- 理事会議事録における署名人の署名捺印を確実に行うこと。

上記の4点以外は、概ね、良とされた。監事の代理として中村圭介理事（総務担当）に同席をお願いした。

上記、事務局長より報告。理事会は了承した。

③ 次期役員予定者の人事について

- 正・副理事予定者及び監事1名繰上当選

去る2月25日（火）東京にて次期理事予定者会議を開催した。結果、渡辺優、川上信二両氏をそれぞれ次期正・副理事長に互選、予定者とした。

また、関東支部選出の監事は渡辺力氏当選であったが、ご本人辞退のため、次点榎田均氏が繰上げ当選となった。以上、事務局長より報告。理事会これを了承。

④ 「IFI会員作品集」特別委員会（川上信二委員長）

出版社の選定及企画立案について川上委員長より報告された。出版社については検討の結果、朝六耀社に決定。今後細部をつめたい。また、従来より打診して来た他の出版社については、事後処理をきちんとする。企画（案）についてはIFI本部と連携を深めるほか、各国の実情調査を進める。理事会はこれを了承した。

⑤ 昭和60年度ブロック別デザイン会議概況報告

- 中国・四国ブロック（2/21、高松）

新居猛会員出席

- 関東甲信越ブロック（3/14、東京）

・安藤孚、山品元両会員出席

- 九州・沖縄ブロック（3/21、福岡）

坂本康四、溝口新、笹島良介三会員出席

以上、川崎・中川両理事及び山品事務局長より補足説明が行われた。理事会はこれを了承した。

⑥ 昭和60年度デザイナー情報提供事業

中小企業デザイン高度化政策（地場産業デザイン高度化特定、デザイナー情報提供、中小企業デザイン国際化振興）の一つ、情報提供（通称：デザイナーバンク構想）の初年度資料が完成した。

カードホルダーの見本（A4版、384ファイル）が提出された。事務局長より巻末の管理シートを参考に、

積極的に閲覧，利用に供したいと発言あり，理事会はこれを了承した。

Ⅱ 議題

① 昭和61年度事業計画(案)および予算(案)について

事業計画(案)については前回，第5回理事会(61.2.1)での審議により修正(案)とされたものが上程され，更に一部，修正の上承認された。

予算(案)については事務局(案)が提出された。

うち，組織人事および本部事業としての展示会・その他事業など特別事業を含め，審議の上，承認された。

② 昭和60年度事業報告(案)および中間決算(案)について

事業報告(案)について事務局より叩き台が提出され，逐條審議を行った。中間決算(案)については61.2.28現在の決算である。事務局より内容の説明を行った結果，理事会はこれを承認した。

尚，今回より「公益法人会計基準」の昭和62年度改正実施に先立ち，計算書の表示が一部変更となった。

③ 名誉会員の推挙について(5件)

定款第5条3項および会員規定第2条4項，第6条3項により次の5会員の資料が上程された。審議の結果，理事会は満場一致で推挙を決定した。

尚，渡辺力会員については役員歴任の事由で，特に名誉理事とされた。

大川原	清	関東支部
新庄	晃	"
西野	実	関西支部
森田	良夫	関東支部
渡辺	力	"

(敬称略)

④ 選考委員会関係

昭和44年に創設されて以来，協会賞は本年度17回目となる。その間，作品に対するもの18，業績に対するもの18，合計36件について贈賞を行って来た。

今回，協会賞そのものを含む，褒賞制度の再検討を実施してはどうか。以上，川上選考委員長から提議があり，理事会はこれを審議して，この内容について選考委員会での検討を付託することを決定した。

⑤ 入退会関係(4件)

• 入会(2件)

氏名	種別	保証推薦者
金堀 一郎	正会員	樋口 治・小林敬一郎

名称	種別	紹介者
インテリアコーディネーター アソシエーション	賛助会員	林 寅 正

• 退会(2件)

氏名	種別
佐藤 守 男	正 会 員
品川 誠	準 会 員

上表のうち，金堀一郎氏に関しては，保証推薦者の一人，樋口治氏が海外滞在のため，特に事務局長より代理発言がなされた。

理事会は以上4件について，資料に基づいて審議の結果，いずれも承認した。

⑥ 議事録署名人選任の件

出席理事のうち，泉修二，中川千年両氏が議長により指名を受け，理事会はこれを承認，署名人として選任した。

次回，新理事会は総会に先立ち，5月30日(金)東京開催の予定。

(以上)

訂正とお詫び

前号「昭和61～62年度役員選挙について」の記事中，得票数に誤植がありました。慎んで訂正し，お詫びいたします。

3. 開票結果(得票順)

a-2理事(関西)の項

正

誤

山内 陸平(32票)

山内 陸平(24票)

以上の通りです。関係各位には，ご迷惑をおかけいたしました。尚，得票順位には変更ありません。今後ともご訂正の程よろしくお願い申し上げます。

(選挙管理委員長 工藤広忠)

第18回(昭和61年度)通常総会へ ご出席を

61年度の通常総会は来る5月30日(金)東京で行われる。全会員には来る5月2日総会議案書と案内を事務局から発送の予定です。

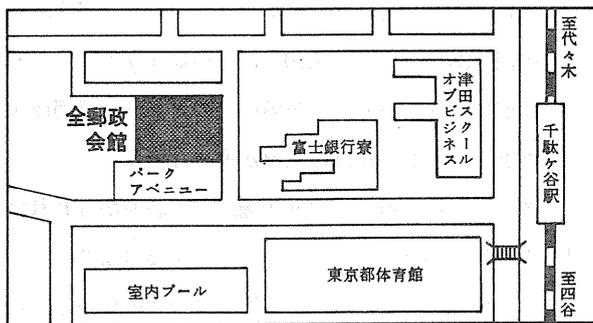
以下、簡単に日時、場所、スケジュールを再録いたします

- ① 日時 5月30日(金)午後1時30分～4時
- ② 場所 東京・千駄ヶ谷・全郵政会館

(電話03-478-7101～7)

交通は国電(中央線)千駄ヶ谷駅、徒歩2分

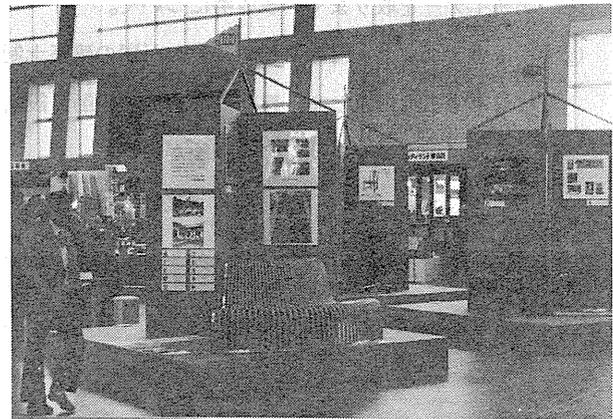
- ③ 1985 JID協会賞贈賞式と野口記念賞授与式及びパーティー 同日、同場所で午後5時～7時



国電(中央線)千駄ヶ谷駅 徒歩2分
尚、駐車場の設備はありません。



相談コーナーと作品展示



会場点描

アのあり方。”と題し、ご講演をお願いしました。2部として愛知会館に場所を替え“JIDデザイナーズ交流パーティー”を行い理事会ご出席の先生方及び中部支部全員、一般の方々を交え、有意義なパーティーが開催されました紙面をおかりしてご参加の皆様方に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

(中部支部広報:安藤 清)

中部支部インテリアセミナー開催及び

'86名古屋生活用品見本市展示イベント参加報告

今年も1月30日～2月2日の4日間 名古屋吹上ホールに於て'86名古屋生活用品見本市が開催された。

当中部支部全員参加により、会員各々の作品パネルを展示し、又、“私の愛用イス”及び“オリジナルデザインのイス”の展示も行い好評を博した。期間中中部支部全員が交互に参加し、インテリア相談コーナーも設置し大変盛況であった。

期間中、2月1日(土)当ホール会議室に於て、インテリアセミナーを行い講師として中部日本スウェーデン協会会長 佐藤順子氏による“スウェーデンの自然と暮らし”と題し、スウェーデン大使館提供による映画も交えながらお話し願った。又当日JID理事会が名古屋で始めて、開催され来名中の三輪正弘理事長にお手数をかけ“インテリ

会員有志懇談会開催

—中部支部—

日時 昭和61年2月21日(土) 2:30～4:00 PM
場所 名古屋市、吹上ホール 会議室
出席者 栃谷賢一、関里絵子、尾崎博司、渡辺 優、川崎 浩、白石勝彦、わたなべひろこ、宇賀敏夫、樋口 治、山品 元

(順不同、敬称略)

理事会で来名中の理事を交え、フリーな雰囲気の下記のテーマを中心に懇談した。

① インテリアプランナー

建設省で検討が続けられているとされるインテリアプランナーは、昭和61年度中には資格試験の実施が予想されるが、協会としては性格、位置からして、公示前に反対の立場はとりにくいし、とるべきでもない。

- ② 資格取得希望の会員への支援は行なうようにする。移行措置などの点も検討を加えておくべきではないか。
- ③ インテリアデザイナーの職能の確立、職能の規範について
- ④ 米国のインテリアデザイナー職能団体の例など。
- ⑤ デザイナーを取りまく一般情勢について。
- ⑥ 中国のデザイナー情報について。わが国の建築士制度に対応するものとして、建築士の他にエンジニア、設備師と呼ぶ、エンジニアリングの職能がある。

(文責 H. Y)



「IFIパリ会議」報告及び アジアとの交流を考える会

—'86渉外シンポジウム・1—

- 日時 昭和61年 月21日(金) (18:30~21:00)
- 場所 TOTOバビリオン9Fプレゼンテーションルーム
- テーマ 第I部 「IFIパリ会議」報告
第II部 アジアとの交流を考える
- 出席者 鈴木栄二氏など会員26名
はじめに大野美代子渉外委員長よりあいさつあり、開会。
 - パネリスト 内田次彦氏(正, 関東, 渉外委員)
 - " 藤原利雄氏(賛, 関アイ・エム・エス)
 - モデレーター 矢吹 宏氏(正, 関東, 渉外委員)

I. IFI「パリ会議」報告

大野委員長, 機関誌100号資料およびレジュメ

- IFIについて (IFIの内容全般——活動, 組織, 歴史, 事業, IFIとJIDなど)
- スライド パリ会議の様相ほか

II. アジアとの交流

- ① シンガポールの事例発表 (内田委員)
 - 国情, 歴史, 大学教育
 - インテリア関連産業のうち, 家具生産の現状
- ② マレーシアの事例発表 (藤原利雄氏, 矢吹委員)
 - 概況を矢吹委員が説明 (経済事情, 建設事情)
 - ホテル建築とインテリア (藤原氏)

1985年に、施主に代って家具・什器・インテリア設備などを購入する業務を行った事例をとりあげた。複合国家としてのマレーシアは、マレーシア系55%、中国系30%、インド系10%、その他5%という人種構成になっており、政経両面でのマレー人優遇政策などの理解なしには、業務が進まない。

○ スライドによるインテリア施工例の説明が行われた。

以上の報告のあと、モデレーターの矢吹委員より、渉外委員会としての活動について、出席者に今後の要望などについて発言を求めたところ、長岡貞夫氏ほかから

- アジア (東南アジア) との交流の前段として、各国のインテリアデザイナー団体の実態調査
- デザイン教育の実情
- インテリア関連産業と卒業生の就職状況等の点について、把握し今後の交流を考えて行くのはどうか、との意見が出された。

限られた時間ながら、用意の軽食などを楽しみつつ、有意義なひとときとなった。定刻散会。

(渉外委員会)

ブロック別デザイン会議

本年のブロック別デザイン会議 (昭和60年度デザイン開発指導連絡協議会) は下記の3ブロックで実施され、会員各氏が出席した。以下その概要報告です。

- 中国・四国ブロック(61.2.21 高松市) 出席 新居 猛
- 関東・甲信越ブロック(61.3.14 東京都) 出席 安藤 孚
山品 元

- 九州・沖縄ブロック(61.3.21 福岡市)出席 坂本 康四
 篋島 良介
 (次号掲載予定) 溝口 新

① 中国・四国ブロック報告

高松市の中国・四国デザイン開発指導連絡協議会に出席しましたが、初めてのことで要領を得ませんでした。当日の議事進行は下記のように用意されておりスムーズに議事は進みました。

- ① デザイン推進施策の概要
- ② 各県におけるデザイン振興等施策の概要及び要望 (各県)
 「地方産業デザイン開発推進事業」の概要 (山口県, 高知県)
 「地場産業デザイン高度化特定事業」の概要 (山口県, 徳島県, 愛媛県)
- ③ その他
 「地方デザイン交流会議 '86 福山」の概要 (福山地方産業デザイン振興協会)
- ④ 質疑応答
- ⑤ 講演
 「地方デザイン開発の推進に係る問題点と今後の進め方」

(株)ワイエスデザイン 代表取締役 吉川博教

①については、通産省佐藤総括班長のデザイン施策の概要説明があり、②は、各県担当者から資料1より報告がなされました。吉川博教氏の講演は、

- (イ) 台湾のイミテーションはどうしようもない。
- (ロ) 地方はデザインのテンポが遅れるが、変化を早く見つけよ。
- (ハ) 近隣諸県での対立は望ましくない。
- (ニ) 北海道池田町のブドー酒の事例。等でした。

また、福山での5月の地方交流会議については、その意欲的な企画に感心しました。

尚、本会議に配布したJID機関誌「インテリアデザイン」100号は、各団体の資料の中でも圧巻でした。

(以上報告：新居 猛)

② 関東・甲信越ブロック

議事については、およそ上記と同じ順序で行われた。「デザイン政策の概要」についてはタイプ印刷の資料が配

布され、国のデザイン政策の基本が藤原検査デザイン課長により述べられた。

各事業の具体施策の実施の面は、産デ振高敷理事により報告されたが、本年は特に、デザイナーバンク構想に関し、初年度の果実として、「デザイナー情報カード」のサンプルファイルが回覧された。各都県市関係(茨城・群馬・千葉・東京・神奈川・新潟・長野・山梨・静岡・横浜市)は出席者の中から合計25名の各担当者により報告と質疑・提言がなされた。

この会議は、例年開催されているが、今回特に気付いた点は、会議の進行が若干変化、講演などのスケジュールを除き、質疑応答の時間をたっぷりとったことである。中央官庁である検査デザイン課と、各都県市の担当者が、一堂に会し、遠慮のない質疑が行われたことは前進だと思う。地方公共団体の、デザインを積極的に行政面に取り込んで行く姿勢を感じた。しかし、予算など財政面の話になるとデザイン関係の金額は小さく、失望を禁じ得なかった。

JIDのほか5団体(JIDA, JCDA, JPDA, JAGDA)からも出席があり、会議の出席者は56名を数えた。定刻5時閉会した。

(以上報告：山品 元)

委員会にご参加を!!

本年度は5月30日(金)の通常総会を機に、新しい執行部のもとで事業が進められることとなります。現在、担当理事予定の方々をお願いして次期委員長、副委員長、委員など、新しい委員会組織の構想づくりが活潑に行われています。従来の委員会活動に清新で自由闊達な気を加味してまいりたいと思います。

どうぞ、積極的にお申出下さい。特に今まで委員会活動の経験のない方、ぜひお申出下さい。お申出、お問合わせなどは事務局までお電話(03-403-3649)か葉書で。

委員組織(予定)は下表をご参照下さい。

- 通常委員会(6委員会予定)

総務委員会

広報委員会

渉外委員会

国際委員会（新設、仮称）

教育委員会

事業委員会

●特別委員会（2委員会予定）

出版特別委員会

「IFI会員作品集」出版特別委員会

尚、関東・関西・九州・中部の各事業支部委員会関係は各支部の事務局へお申出下さるようお願い申し上げます。
(本部事務局)

STEP(豪州家具)実行委員会報告

藤村盛造（関東支部）

昨年5月末に初まりました実行委員会は11月の国際家具見本市ではほぼ任務は終わり、今月の報告会提案のまとめですべて終了し発展的解散ということになりましたので、ここに、一部資料とともに報告書に替えさせていただきます。参加していた豪州家具メーカーも日本市場へのパートナーを何社か見つかればそれなりの成果と今後の発展が期待されている。

日本とオーストラリアという距離的なハンディや、住宅事情による違いが、必ずしもオーストラリアで使われている家具が、すんなり日本市場へ入るとは限らない。

イタリー、西独、北欧などが、長年の日本市場で育ててきた新鮮な情報が国内にオピニオンメーカーを作り輪を広げて輸入市場を支えていると云える。

今後の豪州家具情報の新鮮さに期待している一人です。

以下、STEP委員会での提案のポイントと実行委員会の経過の記録資料は、JID事務局で保管中です。ご興味のある方はコピーを請求していただければと思います。以上ご報告といたします。（事務局 03-403-3649）

報告書

通産省貿易局輸入課主催のSTEP（豪州家具）実行委員会がこの程3月14日第8回委員会をもって一年間の成果と

報告書まとめを行い無事終了した。

私は（社）国際家具産業振興会からの委嘱でこの委員会の委員として参加し、豪州家具に対する卒直な意見をデザイナーとして述べてきた。

実際、豪州家具というイメージを私達デザイナーは、イタリー、西独、北欧等と比較してもっていきなくその情報も不足している。

今回参加していた豪州家具メーカーの中で私自身が興味をもったのは、Out door Livingの家具である。

オーストラリアの太陽の下で快適な生活を想像させるOut door のファニチャーは、やはり歴史も古く、素材、加工、技術の面で秀れたものが多い。

61年度文芸美術国保案内

会員の中でも、文芸美術国保の有利さから、毎年加入する方々が増えてきています。

次頁表でもお分りのように、本年も保険料の改訂がありません。従って、一般国保より更に有利だと思います。公営国保で掛けている会員で、特に家族数の少ない方はご検討下さい。

末表のように、家族数や収入を勘案して、一般の国民健保より有利になる方は、文芸美術国保に加入されることをおすすめします。

① 助産費・育児手当金

助産費 14万円（4万円増額）

育児手当金 6万円

② 葬祭費

組合員、加入後満5年未満7万円（2万円増額）

同 5年以上9万円（1万円増額）

同 10年以上11万円

家族 5万円（2万円増額）

③ 入院見舞金

加入後1年以上の組合員

1日につき1,500円（500円増額）50日間を限度

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

(61.4)

年 収	東京都23区保険料年額 住民税× $\frac{107}{100}$ +1人につき12,000円 最高限度額31万円								組 合 保 険 料 年 額
	200万円		300万円		400万円		500万円		組合員(月額) 7,800円
控除が認められる 必要経費	40%	30%	40%	30%	40%	30%	40%	30%	家 族 (月額) 1人 3,800円
単 身 者	円 65,780	円 80,650	円 113,270	円 142,030	円 173,750	円 215,890	円 240,680	円 301,150	円 93,600
家 族 1 名 (世帯人数2名)			円 102,830	円 128,650	円 158,680	円 200,220	円 221,220	円 279,770	円 139,200
家 族 2 名 (世帯人数3名)						円 183,980	円 204,800	円 258,900	円 184,800
家 族 3 名 (世帯人数4名)							円 188,680	円 240,580	円 230,400
家 族 4 名 (世帯人数5名)								円 224,450	円 276,000

④ 太線内に該当する方は、文芸美術国保組合の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることになります。

専門家のご紹介

既報のように、下記の専門家がJID会員のためにその道の相談にのって下さいます。節税対策など、特にフリーランスの立場にある会員諸兄にも、日常の業務に関連して会計上の疑問などが生じることがあろうかと思えます。その際は時間の許す限り、電話問合せなども含め助言をお願いしてありますので、JID会員であることを告げて、お気軽にご相談下さるようおすすめいたします。

小野木日出勝事務所

税理士 小野木 日出勝

(東京税理士会会員)

〒182 東京都調布市入間町1-27

電話 03-309-6600

インテリア・プロダクト

作品写真撮影のお知らせ

会員の皆様にはますますご清栄のことと存じます。このたび、デザイナーの方々のお仕事の大切な記録用としての、写真撮影部門を拡充いたしました。従来にもましてサービスさせていただきますので、ぜひ一度お試し下さいますよう、ご案内申し上げます。ご一報次第料金表など資料を急送いたします。ご用命のほど、お待ち申し上げます。

スタジオ アイ

〒143 東京都大田区大森北1-23-5

電話 03-765-7840

担当 竹本 浩

関連団体の動き

●社団法人 日本商環境設計家協会 (JCD)

JCDでは先に昭和61年度定期総会を行い、役員改選を行った。理事長に高村英也氏、副理事長に西脇顯正、武石馨両氏が就任され、他に奥脇氏など新執行部25名が決定した。今後の、ますますのご発展を祈りたい。

●日本ディスプレイデザイン協会 (Jdda)

Jddaでも通常総会で、新理事長に松本次郎氏、新副理事長に神吉定、堤久夫の両氏が決定した。堤久夫氏はJID正会員(九州支部)でもある。ますますの交流を深めてゆきたい。

(事務局)

●(財)日本産業デザイン振興会

海外デザイナー研修受託事業などで、J I Dとも関係の深い同振興会の新しい人事が以下のように決定した。

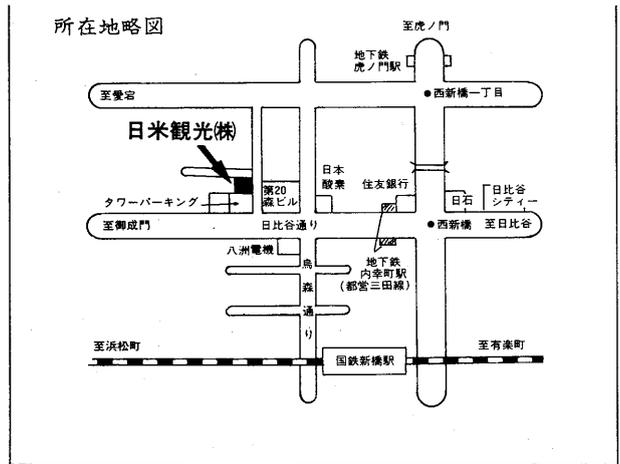
会 長 長 村 貞 一
理 事 長 小 林 健 夫
常務理事・事務局長 高 藪 昭
理 事 関 谷 之 朗

Gマークなど、振興会事業のますますのご発展を祈りたい。

●(財)工芸財団

昭和60年度の国井喜太郎産業工芸賞(第13回)が決まり、去る3月13日、東京マツヤサロンで賞の贈呈式と記念パーティが盛大に行われた。J I Dからも三輪理事ほか会員多数が出席した。受賞者は以下の通りです。各氏のご功績を讃えたいと思います。(カッコ内は贈賞理由)

- 山川 譲氏
(ラタン製品の高度化、身障者の雇傭促進、発展途上国の技術指導)
- 佐々木洋二氏
(産業意匠改善研究員制度の設置に貢献し、優秀な産業デザイナー輩出の途を開いた)
- 堺谷哲郎氏
(秋田杉材を活用し、曲げわ技術他飽くなき開発努力による優良製品の創作)
- 故 畑 正夫氏
(工芸産業界における永年にわたる貢献と「産業工芸とクラフト」の刊行)



故加納士雄に代って

ご 挨拶

立春とは名のみにてお寒い日が続いておりますが皆様方にはお障りもなくお健やかにお過ごしでいらっしゃいますようかお伺い申し上げます

去る1月5日 夫 士雄が天に召されてより本日で50日を迎えました

—中略—

故人の生前中はいろいろとご指導ご鞭撻をいただきましてこれからご恩返しをさせていただくべきところ故人も心残りであったと存じております。

それにつきましても生前中のご交誼にたいし厚くお礼申し上げます

私ども母娘も皆様よりの温かいお心遣いとお励ましにさえられ淋しい中にも徐々に平常の生活を取り戻し始めておりますどうぞ他事ながらご休心いただきますとともに心よりのお礼を申し上げます

—後略—

昭和61年2月23日

狛江市中和泉3-10-10

加 納 修 子

(事務局注記)

上記は加納さんの未亡人修子(のぶ子)様から協会に寄せられたものを転載しました。月日の経つのは早いものです。すでに初夏になりました。お便りにもあるように漸く落ちつきを取戻された由で、嬉しいことです。どうぞお元気で頑張ってくださいと思います。

日米観光株式会社 事務所移転のご案内

新 所 在 地 : 〒105 東京都港区西新橋2-8-1
ワカサビル 2階

新 電 話 番 号 : (03) 595-2621~3

新ファックス番号 : (03) 595-2624

移 転 月 日 : 昭和61年5月1日(木)より新事務所にて営業開始

会員の消息

◇ 松本政雄

日々が凌ぎやすい季節となりお健やかにお越しをお慶び申し上げます。

この度都合により東京に転住いたすことになりました。中部支部の皆様には何かとお世話を長い間かけましたことを改めてお礼申し上げ、また東京の方々には今後何かとご懇情を頂きたく存じます。

も早たいしたことはできませんが何卒宜敷くお願い致します。

何れ支部会合などでお目にかゝることにもなりましようが、簡単乍ら転任のご挨拶を申し上げます。

尚、当分下記内宛にご連絡頂きたく存じます。

61.4.7 松本政雄

普賢寺システムデザイン事務所

〒145 東京都大田区田園調布2-56-11

☎03-721-4515・FAX03-721-4515

◇ 福田耕生

昨年12月より1ヶ月程入院致し、治療に専念いたしました。1月18日から職場に復帰し、頑張っております。事務局よりご連絡をいただきながらご連絡が遅れましたこと、心からお詫び申し上げます。これからも頑張る覚悟ですので、よろしくお願いいたします。近況報告といたします。

(関東)

◇ 杉富士雄

京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターも、お陰様で3月28日(金)無事オープンする事が出来ました。営業成績も上々で、私も、このプロジェクトに参画した一人として喜んでおります。

一度、御視察頂き御批評でもいただければ幸いです。

(関東)

◇ 三宅正郎

平素大変御無沙汰致して居りますが、皆様御元気で御活躍の事と思います。

さて、小生JETROよりの依頼で3月中旬より月末にかけて対日輸出建材指導のためにマレージャへ出張致し、先

日無事帰国しました。近況報告をかねてお知らせさせていただきます。(関東)

◇ 遠藤原一郎

1月31日をもってエンドウデザインスタジオを廃業し2月1日に発足した総合企画会社プランハウス株式会社に参画し代表取締役専務として新たな出発を致すことになりました。

昭和52年にフリーのデザイン事務所を開設して8年間皆様には公私ともひとかたならぬご厚情をいただき厚く御礼申し上げます。

新会社におきましては従来より行ってまいりましたプロダクトデザインの他、建築からインテリア全般に亘った幅広い仕事をしてゆく所存ですので今後とも相変わりがせずご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。(関東)

◇ 石井静香・横江禎子

私共、2年半にわたり2人で協力してインテリア・アイを運営して参りましたが、この度、下記のように新たな出発を致すことになりました。今まで育て、参りましたインテリア・アイを大切に、それぞれ精進する所存でございます。今後共、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

(関東)

・インテリア・アイ・プランニング

横江 禎子

東京都中野区弥生町4-1-11 竹沢ビル2階

〒164 PHONE 03-380-5496

・インテリア・アイ・ユニ

石井 静香

東京都世田谷区上馬5-2-8 メイウッド102

〒154 PHONE 03-487-8510

◇ 夏原晃子

東京(2月3~15日、東京デザイナーズスペース)、大阪(3月3~15日、オン・ギャラリー)、京都(3月17~31日、ギャラリー・アルフ)と3都市にまたがる「1986夏原晃子展」を精力的にこなしました。オブティカル・イルージョン・イン・アクリル・プラス・トミグラフと題し、インテリアのオブジェ、照明、見る人による構成など、いろいろな効果を狙ったものを展覧いたしました。(関西)

(注) 夏原晃子展の案内ハガキから一部省略して転載しました。(事務局)

◇ 新庄 晃

(財)工芸財団評議員・元産業工芸試験所技術部長・元北海道東海大学教授で、正会員の同氏は昭和60年11月勲五等瑞宝章を受章された。晴れの叙勲を心からお祝い申し上げます。(この項事務局記)

◇ 香川 顕 郎

拝啓 いよいよ春がやって来ました。桜の満開もうすぐと思われま。協会には何時も大変お世話になっていま。仲々会合にも出られず、恐縮に思っています。このほど又、海外生活をする事になってしまいました。今度はフィリピンです。『人造りセンター』といて、前首相の鈴木さんが推進した事業で、日本の技術をアジア諸国へ移転させようという計画です。そのプログラムNo.4のリーダーとして1ヶ年半国際協力事業団から派遣されるわけです。もう私でなくてもいいのではないかと感じていたのですが、仲々引き受けて下さる方が見当らないようで、是非ともお前が最適任なのだからとくどかれて、とうとうお引き受けすることになってしまいました。もともと『人生意気に感ず』というのが、私の座右の銘ですから、利害を度外視して動くくせがあるようです。木工、竹工、藤工などの任国の指導者に日本の技術を移転して、この面からフィリピンの産業振興に寄与する仕事です。私なりに、長年の勉強や経験を生かして懸命に努力して来るつもりです。1ヶ年半というと満70歳を越えてしまい、協会の方も名誉会員?になってしまいますね。出発は3月25日(火)で、もうすぐです。目下ものすごく忙しくて、青年にもどった心算りで、やっています。協会もこのところ国際の面に眼を向けて来られて居りますから、その一端を引き受けたような気持でいます。フィリピンは政情未だ不安であり、健康にもあまり良い所ではなさそうです。どうぞ力強いご声援を期待しています。又短期の専門家派遣という事もありますから、若い人が、どしどし来られる事をマニラでお待ちしています。

乱筆になりましたが、協会の発展と会員の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。ご気嫌よろしう。敬具(関東)

賛助会員ニュース

◇ トキワ工業株式会社 <旧社名・常盤レザー工業株>
平素は弊社に格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、常盤グループがCIを実施し、去る昭和61年4月1日をもって企業イメージを一新致しました。常盤レザー工業株式会社も新社名に変更いたしました。



PINEBULL
壁紙材 パイプフル

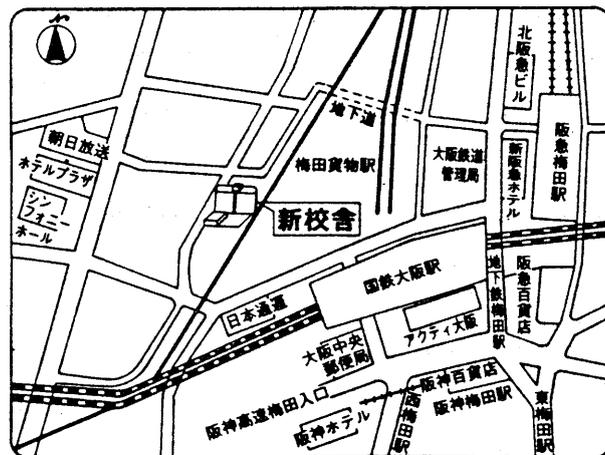
ご紹介のシンボルマークは豊かな空間イメージ、豊かな建築イメージを意図したものです。コーポレートカラーのブルーにもまた、大きな未来への願いをこめました。

そして、ブルドックマークで永年愛されてきたメインブランド、PINEBULLのロゴタイプも一新しております。新しい企業イメージで、新しい壁装材の提供と新しいインテリアライフを創造するトキワグループ。これからもいっそうのご指導、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 平井 純一郎

◇ 創造社デザイン専門学校

この度本学園は昭和61年3月19日より下記の新校舎に移転し、業務を行うことになりました。なにとぞご高承のうえ、一層のお引立を賜りますようお願い申し上げます。



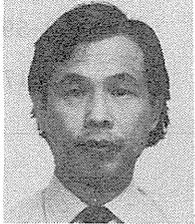
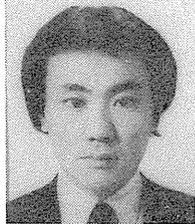
記

新所在地 大阪市福島区福島6丁目25番23号

郵便番号 553		芸術系(2年制)教務課	(06)452-5561
電話番号 代表	(06)452-0821	工科系(4年制)教務課	(06)452-5941
学生課・総務会計課	(06)452-0292	就職センター	(06)452-5231
芸術系(2年制)入学相談センター	(06)452-1411	SOCS実習センター	(06)452-5991
工科系(4年制)入学相談センター	(06)452-1971	〃	(FAX) (06)452-1787

新入会員の紹介

<p>けん じょう よし こ 見 城 美 子 (会員番号594)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>女子美術大学 東京都杉並区和田1-49-8 〒166 03-382-2271 (内47) 東京都世田谷区宇奈根125-23 〒157 03-415-5421 田 辺 麗 子 ・ 田 中 聰 行</p>
<p>たか はし けい こ 高 橋 啓 子 (会員番号595)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>江南女子短期大学 愛知県江南市高屋町大松原172 〒483 05875-5-6165 愛知県江南市大字村久野字宮浦15-5 〒483 05875-7-1533 目 次 昭 雄 ・ 小 林 敬 一 郎</p>
<p>おき もと ひろ し 沖 本 弘 至 (会員番号596)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>広島デザインハウス 広島市佐伯区五日市町新宮苑17-13 〒731-51 0829-22-5700 同 上 浅 田 弘 之 ・ 金 子 誠 之 助</p>
<p>き やなぎ ひさ お 木 柳 寿 夫 (会員番号597)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>ショップ プロジェクト 埼玉県上福岡市川崎2-5-2 〒356 0492-63-6906 同 上 大 廣 保 行 ・ 山 品 元</p>

<p>かき まつ さかえ 笠 松 栄 (会員番号598)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>自営 デザインコンサルタント 埼玉県浦和市本太3丁目29-3 〒336 0488-86-8352 同 上 三輪正弘・山品元</p>
<p>いの うえ やす ひこ 井 上 保 彦 (会員番号599)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>ピトリ・ピコリ 東京都世田谷区桜上水3-9-6 〒156 03-306-2933 〒135 03-644-7996 白石勝彦・下島資子</p>
<p>かね ぼり いち ろう 金 堀 一 郎 (会員番号600)</p> 	<p><勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者></p>	<p>(株)ヒロタニ (広島インテリア協議会出向事務局長) 広島市安佐南区祇園1丁目16-22 〒731-01 082-875-1600 広島市安佐南区安東6丁目16-5 〒731-01 082-878-5103 樋口 治・小林 敬一郎</p>

準 会 員

<p>やま した いさむ 山 下 勇 (会員番号B-154)</p> 	<p><自 宅> <推 薦 者></p>	<p>フリー 北海道室蘭市東町3丁目20-5 〒050 0143-44-9547 中村 昇</p>
--	--------------------------------------	---

賛 助 会 員

<p>学校法人創造社学園 創造社 デザイン専門学校</p>	<p>住 所 担 当 者 紹 介 者</p>	<p>〒553 大阪市福島区福島6丁目25-23 電話番号 (06)-452-0821 副校長 大野 幸夫 福田 武・山内 陸平</p>
---------------------------------------	-------------------------------------	--

(株)トヨシマビジネス	住 所 担 当 紹 介 者	〒160 東京都新宿区新宿2-19-1 電話番号 (03) 350-3591 建装課 課長 勝 木 幹 夫 三 輪 正 弘
インテリアコーディネーター アソシエーション	住 所 担 当 紹 介 者	〒454 名古屋市中川区山王一丁目2番30号 東洋プライウッドインテリア内 電話番号 (052) 331-5235 事務局長 早 川 昌 直 林 寅 正

会員の異動

正 会 員

会 員 名	異 動 事 項	新
遠 藤 原 一 郎 (関東) P. 47	事 務 所 勤 務 先	プランハウス(株)代表取締役専務 〒420 静岡市千代田7丁目3-15 TEL 0542-64-0353 FAX 0542-63-8966
合 田 正 美 (関東) P. 66	勤 務 先 住 所 訂 正	〒104 中央区銀座3-7-3 電話番号 (03) 566-5238
堀 内 啓 二 (中部) P. 198	事 務 所	堀内デザイン 〒488 尾張旭市南新町中畑1-45 電話番号 05615-4-0472 兼務 名古屋造形芸術短期大学 非常勤講師 電話番号 0568-79-1111
宮 本 勝 康 (関東) P. 111	勤 務 先 転 勤 自 宅 住 所	(株)伊勢丹 外商特販部 家具装飾担当 〒160 東京都新宿区新宿3-14-1 電話番号 (03) 354-2247 〒116 東京都荒川区東日暮里1-25-9 電話番号 (03) 805-0084
大 河 原 清 (関東) P. 48	自 宅 住 所	〒277 千葉県柏市花野井1586-77 電話番号 (0471) 33-6429
加 藤 帛 子 (関東) P. 57	自 宅 住 所	〒213 川崎市宮前区菅生4352-20 電話番号 (044) 977-2199

浅田 弘之 (関西) P. 135	勤務先転勤	(株)高島屋 事業本部事業統括部設計室 〒542 大阪市南区難波5丁目1-5 電話番号 (03) 632-3091
松本 政雄 (名誉) P. 33	勤務先 自宅住所	普賢寺システムデザイン事務所 〒145 東京都大田区田園調布2-56-11 電話番号 (03) 721-4515 FAX (03) 721-4515 〒165 東京都中野区江原町2-26-5 北村壽勝方 電話番号 (03) 951-3390
横江 禎子 (関東) 新入会	事務所	インテリア・アイ・プランニング 〒164 東京都中野区弥生町4-1-11 竹沢ビル2階 電話番号 (03) 380-5496
石井 静香 (関東) 新入会	事務所名	インテリア・アイ・ユニ

準会員

瀬尾 清 (関東) P. 211	事務所移転	〒113 東京都文京区湯島3-21-12 第3川田ビル403 電話番号 (03) 836-5909
溝口 雅彦 (関東) P. 214	自宅住所	〒227 横浜市緑区長津田6-10-6-309
柴田 龍介 (九州) P. 221	事務所移転	〒810 福岡市中央区渡辺通2-7-20 サン・シーダービル 402号 TEL (092) 713-6621 FAX (092) 713-4490
松本 信枝 (関東) P. 213	自宅住所	〒106 東京都港区六本木5-13-6 麻布CMSホームズ204 電話番号 (03) 584-6533

賛助会員

(株)アイ・エム・エス P. 229	会社移転	〒151 東京都渋谷区富ヶ谷1-3-8 第一ビル5F TEL (03) 468-7351 (代) FAX (03) 468-7491 テレックス IMS-J-2423797
-----------------------	------	---

常盤レザー工業(株) P・244	社 名 変 更	トキワ工業株式会社
(株) 三 越 新入会	担 当 者	商品本部 家具電器部 課長 児 玉 力 也

会議と会合

〔2月〕

- 25日 新理事予定者会議
- 26日 関西事業支部臨時総会
- 27日 選考委員会

〔3月〕

- 10日 選考委員会
- 11日 教育委員会
- 15日 IFI 会員作品集出版特別委員会
- 20日 五団体事務局長連絡会
- 28日 60 年度第 6 回理事会

〔4月〕

- 3日 教育委員会
- 8日 選考委員会
- 10日 関東事業支部委員会
- 23日 関東事業支部見学会

寄贈図書 (・印寄贈者)

	書 (誌) 名	月 日	備 考
・会 員 名 簿	神戸デザイナーズ協会	2. 6	
・FACT 先端産業と日建設計	(株) 日 建 設 計	2. 12	
・Design Issues	University of Illinois	2. 28	
・昭和60年度 デザイナー情報カード	中小企業事業団	3. 19	
・MEMBER'S WORK TODAY 1986	(社) 日本パッケージデザイン協会	4. 7	

事務局短信

- ① 窓外の木蓮のつぼみも本号が郵送される頃は満開となるでしょう。桜前線も関東をまたいで、日一日と北上しています。北海道の会員にも新緑が待たれる季節です。
- ② 事務局では現在総会準備の真最中です。去る3月28日開催の理事会決定を受け、「議案書」の準備に入りました。本年は新役員会のもと、委員会も一新されるものが多いと思われます。どうぞ積極的な協会事業へのご協力をお願いいたします。
- ③ 例年のように「文芸美術国民健康保険」案内を載せてあります。保険料は一昨年から据置きになっている頼もしい組織です。家族数と年間収入など、保険負担額に大きな

差が出る会員もおられるのではないかと思います。一般国民保と一度比較ご検討下さるようお願いいたします。事務局にも資料がありますので、ご請求下さい。

④ 昭和60年度会費未納の方へ

本年から「公益法人会計基準」の改正点に沿っての会計処理を進めることとなりました。60年度の決算上げひとも大至急未納会費を納めて下さい。通常総会も近く、一部の未納会員のために事務上大変苦渋を強いられる年度初めです。該当会員各位のご理解をお願いいたします。

- ⑤ 「デザイナー情報カード」ファイル(昭和60年度版、中小企業事業団、産デ振委託事業)が事務局に届きました。A4版、384ページのファイルです。賛助会員を中心に関連企業のご活用をお待ちします。 (事務局)

